

大田原通信

大田原に住んでいて「当たり前」なことが移住者にとっては「魅力」に感じられることも。この通信では、毎月1回大田原の隠れた魅力をお伝えします。

大田原市移住・定住交流サロン通信

控えめで、静かな趣を一杯に。



wabisuke
ゆだ けんじ
湯田 健司さん

大田原市本町にあるコーヒー店wabisuke（ワビスケ）。元サラリーマンの店主・湯田さんが、独学で焙煎を学び、自宅から始めた豆の販売を経て、2019年にオープンしたお店だ。豆を“洗って”から焙煎する珍しい手法や、丁寧に積み重ねた味づくり。その根底には、店名にも込めた「控えめで静かな趣」が流れている。それは湯田さん自身の生き方と、彼が淹れる一杯に自然と滲み出ている。

コーヒーに魅せられて

湯田さんは大田原市佐久山出身。サラリーマン時代の28歳のころにコーヒーの魅力に目覚めた。「ただ飲むだけでなく、“作る”側に回ってみたい」と思うようになったのは30歳のとき。そこから「どうすれば仕事として成り立たせられるか」を模索し、独学で焙煎や豆のことを学び始めた。「やらないでぐずぐずしているより、やった方が良いと思ったんです。」36歳の頃には、副業として自家焙煎豆の販売をスタート。実家の空き部屋を改装して焙煎所とし、月に1~2回の試飲販売やマルシェ出店、ネット通販を展開。中には、販売初期からずっと買い続けてくれるお客様もいるという。

店との出会い、名前に込めた想い

転機は、副業を始めて2年ほど経った頃だった。そろそろ店舗を構えたいと物件を探していた湯田さんは、現在の店舗前に貼られた「テナント募集」の張り紙を見て、一瞬で心を奪われた。

「ここしかない」と即決。2019年4月、コーヒー店「wabisuke」は開業した。店名は、開業前に読んでいた小説に登場した椿の名前に由来する。その花の花言葉は「控えめ」「静かな趣」。それはまさに、自分の目指すコーヒーと空間のイメージにぴったりだった。



店舗入り口。イギリスのパブを参考にしたという。

美味しさのために豆を洗う

湯田さんの焙煎には、ひとつ特徴的な手法がある。それは「焙煎前に豆を洗う」こと。ある日、自分の焙煎した豆を飲んで「なぜかおいしくない」と感じた。調べていくうちに、「焙煎前に豆を洗う」というやり方にたどり着いた。試してみると、味が一変。「原因は、豆についている砂や埃、防カビ剤だったんです。この工程は手間がかかるが、こうした汚れが原因で体調に合わないことがある。」と湯田さんは話す。「味はもちろん、身体にとってもやさしいコーヒーを提供したい。」その思いが、丁寧な焙煎につながっている。

また、仕入れ先の農園を限定せず、地域単位での指定を行うことで年間を通して味のブレを抑えている。浅煎りや深煎りではなく、ニュートラル（豆本来の個性が引き立つ）な焙煎を心がけ、抽出のピークに合わせてベストなタイミングで一杯を淹れる。



ワイングラスで味わうアイスコーヒー。丁寧に急冷され、華やかさも残り後味はスッキリした風味。

伝える楽しさと、これからのこと

湯田さんは、コーヒーをただ淹れる人ではない。コーヒーの面白さを伝え、誰かの挑戦を後押しする存在でもある。

今後は、自身が愛用する1930年代から使われているレバータイプのエスプレッソマシンの販売や講座を通じて、マシンそのものだけでなく、その抽出方法や魅力を含めた“スタイル”そのものを伝えていきたいと考えている。そしてもうひとつの目標は、限定的な完全予約制のディナー営業を始めること。こだわりのドリップコーヒーと、賄いで腕を磨いてきたパスタを提供し、最後はエスプレッソで締めくくるような、そんなひとときをつくりたいという。「始めるのは誰でもできるけど、続けていくのが一番難しい。でも、美味しいって言ってもらえると、“やってよかった”って思える。今はもう、全部が楽しいです。」



県内でも使用している店は数軒しかないというレバータイプのエスプレッソマシン。



wabisuke

大田原市本町1-2691

定休日：月曜・火曜

営業時間：10時～18時（土曜のみ12時～21時）

電話：050-3579-0221



ホームページ



取材した方に聞きました
「あなたの好きな 大田原」

最強らあめん



【定休日】

月曜

【営業時間】

11:00～14:00(LO13:45)

17:00～20:00(LO19:30)

大田原市紫塚3丁目3945-41



お問合せ

大田原市の移住相談窓口

大田原市移住・定住交流サロン

大田原市本町1-3-1 大田原市役所A別館2階

Tel : 0287-23-8794 (平日/9:00～17:00)

Mail : salon@ohtawara-ijyu.jp



ホームページ



Facebook



Instagram

大田原の暮らし、地域情報など発信中！

担当課：大田原市役所 総合政策部 政策推進課